

ブラジル株式 ツインαファンド (毎月分配型) シングルα・米ドルコース

運用報告書 (全体版) (第13作成期)


第70期 (2020年11月25日) 第73期 (2021年2月25日)
第71期 (2020年12月25日) 第74期 (2021年3月25日)
第72期 (2021年1月25日) 第75期 (2021年4月26日)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年12月19日から2022年12月26日まで	
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	円建ての外国投資信託証券であるクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (シングル・アルファ・クラス) および国内の証券投資信託であるマネーパブルマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (シングル・アルファ・クラス)	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	マネーパブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時 (毎月25日、休業日の場合は翌営業日) に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益 (評価益を含みます。) が中心となる場合があります。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「ブラジル株式ツインαファンド (毎月分配型) シングルα・米ドルコース」は、2021年4月26日に第75期決算を行いましたので、第70期から第75期の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)
<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額			債券組入比率	債券先物比率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(シングル・アルファ・クラス)組入比率	純資産額
		(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
		円	円	%	%	%	%	百万円
第9作成期	46期(2018年11月26日)	3,136	80	4.9	—	—	98.3	106
	47期(2018年12月25日)	2,935	80	△3.9	—	—	98.0	105
	48期(2019年1月25日)	3,148	60	9.3	—	—	98.3	116
	49期(2019年2月25日)	3,189	60	3.2	—	—	98.4	119
	50期(2019年3月25日)	2,918	60	△6.6	—	—	98.2	111
第10作成期	51期(2019年4月25日)	2,901	60	1.5	—	—	98.3	109
	52期(2019年5月27日)	2,730	60	△3.8	—	—	98.9	100
	53期(2019年6月25日)	2,835	60	6.0	—	—	98.6	105
	54期(2019年7月25日)	2,881	60	3.7	—	—	98.2	150
	55期(2019年8月26日)	2,434	60	△13.4	—	—	98.1	146
第11作成期	56期(2019年9月25日)	2,532	60	6.5	—	—	98.4	155
	57期(2019年10月25日)	2,645	50	6.4	—	—	98.5	158
	58期(2019年11月25日)	2,589	50	△0.2	—	—	98.4	158
	59期(2019年12月25日)	2,695	50	6.0	—	—	98.5	160
	60期(2020年1月27日)	2,668	50	0.9	—	—	98.3	161
第12作成期	61期(2020年2月25日)	2,468	50	△5.6	—	—	98.4	155
	62期(2020年3月25日)	1,365	35	△43.3	—	—	98.6	74
	63期(2020年4月27日)	1,268	35	△4.5	—	—	98.1	71
	64期(2020年5月25日)	1,367	35	10.6	—	—	98.6	78
	65期(2020年6月25日)	1,471	35	10.2	—	—	98.4	85
第13作成期	66期(2020年7月27日)	1,609	35	11.8	—	—	98.5	95
	67期(2020年8月25日)	1,441	35	△8.3	—	—	98.4	85
	68期(2020年9月25日)	1,387	35	△1.3	—	—	98.4	80
	69期(2020年10月26日)	1,391	35	2.8	—	—	98.5	82
	70期(2020年11月25日)	1,484	35	9.2	—	—	98.1	90
第13作成期	71期(2020年12月25日)	1,527	35	5.3	—	—	98.5	97
	72期(2021年1月25日)	1,450	35	△2.8	—	—	98.5	91
	73期(2021年2月25日)	1,458	35	3.0	—	—	98.4	97
	74期(2021年3月25日)	1,391	35	△2.2	—	—	98.4	95
	75期(2021年4月26日)	1,477	35	8.7	—	—	98.4	104

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日		基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III- ブラジル株式アルファ・ ファンド (通称 機関投資家限定) (シングル・アルファ・ クラス) 率 組 入 比 率
			円	騰 落 率			
第70期	期 首 (前期末)	2020年10月26日	1,391	—	—	—	98.5
		10月末	1,317	△5.3	—	—	98.3
	期 末	2020年11月25日	1,519	9.2	—	—	98.1
第71期	期 首 (前期末)	2020年11月25日	1,484	—	—	—	98.1
		11月末	1,494	0.7	—	—	97.9
	期 末	2020年12月25日	1,562	5.3	—	—	98.5
第72期	期 首 (前期末)	2020年12月25日	1,527	—	—	—	98.5
		12月末	1,538	0.7	—	—	98.4
	期 末	2021年1月25日	1,485	△2.8	—	—	98.5
第73期	期 首 (前期末)	2021年1月25日	1,450	—	—	—	98.5
		1月末	1,474	1.7	—	—	98.5
	期 末	2021年2月25日	1,493	3.0	—	—	98.4
第74期	期 首 (前期末)	2021年2月25日	1,458	—	—	—	98.4
		2月末	1,400	△4.0	—	—	97.7
	期 末	2021年3月25日	1,426	△2.2	—	—	98.4
第75期	期 首 (前期末)	2021年3月25日	1,391	—	—	—	98.4
		3月末	1,438	3.4	—	—	98.8
	期 末	2021年4月26日	1,512	8.7	—	—	98.4

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

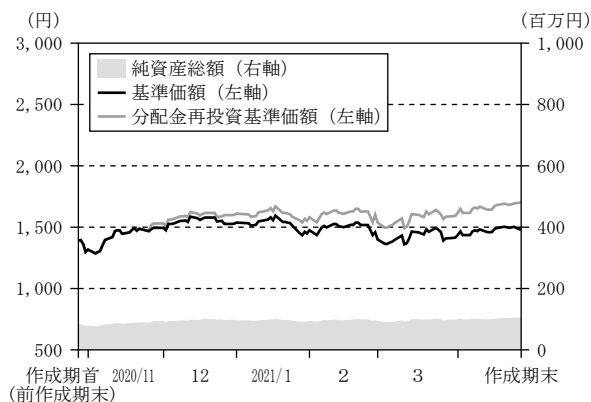
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第70期首：1,391円

第75期末：1,477円 (既払分配金210円)

騰落率：22.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2020年10月26日) の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れているクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (シングル・アルファ・クラス) において、ブラジル株式 (米ドル建てETF) などがプラス寄与した結果、基準価額 (分配金再投資ベース) は上昇しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (シングル・アルファ・クラス)	23.6%
マネープールマザーファンド	△ 0.0

■ 投資環境

【ブラジル株式市況】

ブラジル株式市場は上昇しました。ブラジルの製造活動や消費の堅調さを示す経済指標が散見されたこと、欧米をはじめ一部の国における新型コロナウイルスワクチンの接種開始が経済活動正常化への期待を強め、鉄鉱石や原油など国際商品価格が堅調に推移したことなどが好材料となったほか、米国のバイデン新政権のもとでの大規模な追加経済対策への期待が投資家のリスク選好姿勢を強め、作成期初から2021年1月前半にかけて株価は上昇基調で推移しました。その後は、ブラジルの11月小売売上高が市場予想を下回ったことや、ブラジル国内における新型コロナウイルスワクチンの輸送の遅れが懸念材料となって株価は下落に転じ、2月には、ボルソナロ大統領が、燃料価格を巡り対立していたペトロbras (ブラジル石油公社) のCEO (最高経営責任者) について、ブラジルに対しコミットメントを示していないとの理由から更迭を発表したことが嫌気され、株価は大幅に下落しました。3月には、米国の1.9兆ドル規模の追加経済対策への期待が投資家心理を上向けたほか、ブラジルにおいて、財政支出の伸びを抑制しつつ新型コロナウイルスの影響に対する

追加緊急支援を可能にするための法案が可決されたことが好感され株価は上昇しました。その後も、米国の金融緩和の長期化観測や、ブラジルの主要貿易相手国である中国の経済指標の改善、I E A（国際エネルギー機関）による石油需要見通しの上方修正などを背景とした原油価格の上昇などが好材料となって、作成期末にかけて株価は上昇基調で推移しました。

【為替市況】

円・米ドル相場は円安米ドル高となりました。米国における新型コロナウイルスワクチン普及への期待や、バイデン新政権による追加経済対策への期待が米ドルの買い材料となった一方、米国における金融緩和の長期化観測や大規模な経済対策による財政悪化が意識されたことなどから、作成期初から2021年1月にかけて米ドルは円に対し上値の重い展開が続きました。1月終盤には、追加経済対策が米国経済の回復につながるなどの期待や、財政支出拡大に伴う国債増発を見込んだ米長期金利の上昇を背景に日米の金利差が意識されたことなどから米ドルは円に対し上昇し、その後も、米国における追加経済対策案の成立や新型コロナウイルスワクチンの接種ペースの加速などが米ドルの買い材料となって、3月にかけて円安米ドル高が進行しました。4月に入ると、米週間新規失業保険申請件数が予想を上回ったことや、4月ミシガン大学消費者信頼感指数が予想を下回ったことなどを背景とした米長期金利の低下を受けて、円高米ドル安基調に転じました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.08\%$ から作成期末は $\Delta 0.11\%$ となりました。作成期中においては、国庫短期証券の発行増加に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（シングル・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（シングル・アルファ・クラス）】

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）とブラジル株式・オプション取引および円に対する米ドルの投資成果の享受を目指して運用を行いました。

【マネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第70期から第75期まで各35円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（シングル・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（シングル・アルファ・クラス）】

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式（米ドル建てETF）からの配当金＋ブラジル株式（米ドル建てETF）の株式オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

【マネープールマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2020年10月27日から2021年4月26日まで)

費用の明細

項目	第70期～第75期		項目の概要
	2020/10/27～2021/4/26		
	金額	比率	
平均基準価額	1,443円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	11円 (4) (6) (0)	0.729% (0.274) (0.439) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.041 (0.041)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	12	0.778	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

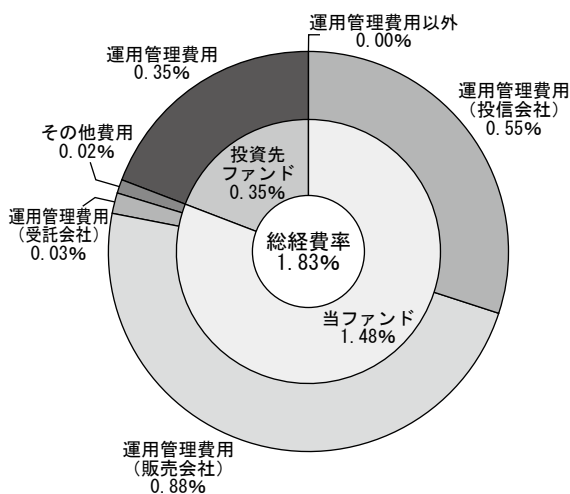
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.83%です。



総経費率 (①+②+③)	1.83%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.35%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2020年10月27日から2021年4月26日まで)

(1) 投資信託証券

		第 70 期 ~ 第 75 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (シングル・アルファ・クラス)	口	千円	口	千円
		22,408	26,200	9,593	11,161

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第 70 期 ~ 第 75 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
マネープールマザーファンド		千口	千円	千口	千円
		266	270	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2020年10月27日から2021年4月26日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2021年4月26日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第69期末)	当 作 成 期 末 (第 75 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (シングル・アルファ・クラス)	73,307	86,122	102,658 千円	98.4 %

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 69 期 末)	当 作 成 期 末 (第 75 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
マネープールマザーファンド	598 千口	864 千口	876 千円

(注) マネープールマザーファンド全体の受益権口数は108,295千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2021年4月26日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 75 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式 アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (シングル・アルファ・クラス)	102,658 千円	95.3 %
マネープールマザーファンド	876	0.8
コール・ローン等、その他	4,192	3.9
投資信託財産総額	107,726	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年11月25日現在 2020年12月25日現在 2021年1月25日現在 2021年2月25日現在 2021年3月25日現在 2021年4月26日現在

項 目	第70期末	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末
(A) 資産	92,789,212円	100,194,998円	93,930,663円	100,098,373円	98,315,621円	107,726,597円
コール・ローン等	3,083,983	3,176,108	2,823,240	3,411,157	3,633,112	4,191,760
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ ファンド(適格機関投資家限定)(シングル・ アルファ・クラス)(評価額)	88,828,194	96,141,942	90,230,475	95,810,354	93,805,647	102,658,062
マネーボールマザーファンド(評価額)	877,035	876,948	876,948	876,862	876,862	876,775
(B) 負債	2,241,810	2,558,547	2,336,102	2,759,468	2,976,486	3,394,037
未払金	—	200,000	—	300,000	300,000	700,000
未払収益分配金	2,135,077	2,237,571	2,210,997	2,336,508	2,399,674	2,472,320
未払解約金	4,503	3,883	2,964	1,793	167,737	91,001
未払信託報酬	101,170	115,879	120,873	119,910	107,944	129,361
未払利息	5	5	4	5	5	6
その他未払費用	1,055	1,209	1,264	1,252	1,126	1,349
(C) 純資産総額(A-B)	90,547,402	97,636,451	91,594,561	97,338,905	95,339,135	104,332,560
元本	610,022,219	639,306,277	631,713,509	667,573,842	685,621,183	706,377,234
次期繰越損益金	△519,474,817	△541,669,826	△540,118,948	△570,234,937	△590,282,048	△602,044,674
(D) 受益権総口数	610,022,219口	639,306,277口	631,713,509口	667,573,842口	685,621,183口	706,377,234口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,484円	1,527円	1,450円	1,458円	1,391円	1,477円

(注) 当ファンドの第70期首元本額は594,463,782円、第70～75期中追加設定元本額は253,954,531円、第70～75期中一部解約元本額は142,041,079円です。

(注) 元本の欠損

第75期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は602,044,674円です。

(注) 第75期末の1口当たり純資産額は0.1477円です。

損益の状況

自2020年10月27日 自2020年11月26日 自2020年12月26日 自2021年1月26日 自2021年2月26日 自2021年3月26日
至2020年11月25日 至2020年12月25日 至2021年1月25日 至2021年2月25日 至2021年3月25日 至2021年4月26日

項 目	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
(A) 配当等収益	1,965,768円	2,116,180円	2,226,232円	2,267,601円	2,133,976円	2,393,706円
受取配当金	1,965,832	2,116,266	2,226,304	2,267,671	2,134,057	2,393,792
支払利息	△ 64	△ 86	△ 72	△ 70	△ 81	△ 86
(B) 有価証券売買損益	5,798,372	2,738,929	△ 4,798,633	492,357	△ 4,140,436	5,926,615
売買利益	5,852,701	2,805,572	15,959	577,180	169,557	6,136,264
売買損益	△ 54,329	△ 66,643	△ 4,814,592	△ 84,823	△ 4,309,993	△ 209,649
(C) 信託報酬等	△ 102,225	△ 117,088	△ 122,137	△ 121,162	△ 109,070	△ 130,710
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,661,915	4,738,021	△ 2,694,538	2,638,796	△ 2,115,530	8,189,611
(E) 前期繰越損益金	△ 67,883,141	△ 59,471,783	△ 54,664,772	△ 57,729,001	△ 54,811,364	△ 56,303,368
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△457,118,514 (66,913,156)	△484,698,493 (69,998,889)	△480,548,641 (69,022,930)	△512,808,224 (72,928,212)	△530,955,480 (74,779,910)	△551,458,597 (76,765,492)
(G) 合計(D+E+F)	△517,339,740 (△524,031,670)	△539,432,255 (△554,697,382)	△537,907,951 (△549,571,571)	△567,898,429 (△585,736,436)	△587,882,374 (△605,735,390)	△599,572,354 (△628,224,089)
(H) 収益分配金	△ 2,135,077	△ 2,237,571	△ 2,210,997	△ 2,336,508	△ 2,399,674	△ 2,472,320
次期繰越損益金(G+H)	△519,474,817	△541,669,826	△540,118,948	△570,234,937	△590,282,048	△602,044,674
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△457,313,706 (66,717,964)	△484,870,923 (69,826,459)	△480,655,543 (68,916,028)	△512,976,678 (72,759,758)	△531,330,248 (74,405,142)	△551,574,816 (76,649,273)
(売買損益相当額)	(△524,031,670)	(△554,697,382)	(△549,571,571)	(△585,736,436)	(△605,735,390)	(△628,224,089)
繰越損益金	△ 62,161,111	△ 56,798,903	△ 59,463,405	△ 57,258,259	△ 58,951,800	△ 50,469,858

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

〔第70期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（1,939,885円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（66,913,156円）より、分配対象収益は68,853,041円（1万円当たり1,128円）であり、うち2,135,077円（1万円当たり35円）を分配金額としております。

〔第71期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,065,141円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（69,998,889円）より、分配対象収益は72,064,030円（1万円当たり1,127円）であり、うち2,237,571円（1万円当たり35円）を分配金額としております。

〔第72期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,104,095円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（69,022,930円）より、分配対象収益は71,127,025円（1万円当たり1,125円）であり、うち2,210,997円（1万円当たり35円）を分配金額としております。

〔第73期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,168,054円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（72,928,212円）より、分配対象収益は75,096,266円（1万円当たり1,124円）であり、うち2,336,508円（1万円当たり35円）を分配金額としております。

〔第74期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,024,906円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（74,779,910円）より、分配対象収益は76,804,816円（1万円当たり1,120円）であり、うち2,399,674円（1万円当たり35円）を分配金額としております。

〔第75期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,356,101円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（76,765,492円）より、分配対象収益は79,121,593円（1万円当たり1,120円）であり、うち2,472,320円（1万円当たり35円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万円当たり・税引前）

項目	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
	2020年10月27日 ～2020年11月25日	2020年11月26日 ～2020年12月25日	2020年12月26日 ～2021年1月25日	2021年1月26日 ～2021年2月25日	2021年2月26日 ～2021年3月25日	2021年3月26日 ～2021年4月26日
当期分配金	35	35	35	35	35	35
（対基準価額比率）	2.304	2.241	2.357	2.344	2.454	2.315
当期の収益	31	32	33	32	29	33
当期の収益以外	3	2	1	2	5	1
翌期繰越分配対象額	1,093	1,092	1,090	1,089	1,085	1,085

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）
（ツイン・アルファ・クラス）（シングル・アルファ・クラス）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分	類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用基本方針		<p>（ツイン・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>（シングル・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主な投資対象		クレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を投資対象とします。
投資態度		<p>（ツイン・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引ならびに為替オプション取引の各々の実質的な想定元本は、原則として、ブラジル株式・オプション取引についてはおおむね純資産相当額の半分程度、為替オプション取引についてはおおむね純資産相当額程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。 <p>（シングル・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引の実質的な想定元本は、原則として、おおむね純資産相当額の半分程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限		<ol style="list-style-type: none"> ①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済総株式数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性にかかる資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社ならびに管理会社は、自己又は投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
配分方針		原則として、毎月分配を行います。
投資運用会社		クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド

※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) (2) : バンクオブニューヨークメロン証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。

(3) : ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

(1) 各クラスの状況

作成基準日：2020年11月30日

	受益権総口数
シングル・アルファ・クラス	75,472口
ツイン・アルファ・クラス	38,545,608
合計	38,621,080口

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間：2019年12月1日～2020年11月30日

単位：円

収益	
手数料収入	9,445,078,342
担保付スワップ取引に係る純損失	(14,537,191,625)
	(5,092,113,283)
収益合計	(5,092,113,283)
運用費用	58,584,783
運用費用合計	58,584,783
運用損失	(5,150,698,066)
分配前の期中の純資産変動	(5,150,698,066)
支払分配金	(9,386,493,559)
分配後の期中の純資産変動	(14,537,191,625)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2020年11月30日

担保付スワップ

単位：円

クラス	想定元本額	評価額
シングル・アルファ・クラス	754,720,050	89,207,910
ツイン・アルファ・クラス	385,456,075,490	15,264,060,590
合計		15,353,268,500

(注) 日付は現地基準です。

マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第15期（決算日 2020年11月10日）
（計算期間 2019年11月12日から2020年11月10日まで）

「マネープールマザーファンド」は、2020年11月10日に第15期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
11期（2016年11月10日）	10,174	△0.0	—	—	百万円 67
12期（2017年11月10日）	10,167	△0.1	—	—	129
13期（2018年11月12日）	10,159	△0.1	—	—	157
14期（2019年11月11日）	10,152	△0.1	—	—	213
15期（2020年11月10日）	10,145	△0.1	—	—	109

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率 %	債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
期首 (前期末) 2019年11月11日	10,152	—	—	—
11月末	10,152	0.0	—	—
12月末	10,151	△0.0	—	—
2020年1月末	10,150	△0.0	—	—
2月末	10,150	△0.0	—	—
3月末	10,149	△0.0	—	—
4月末	10,149	△0.0	—	—
5月末	10,148	△0.0	—	—
6月末	10,147	△0.0	—	—
7月末	10,147	△0.0	—	—
8月末	10,146	△0.1	—	—
9月末	10,146	△0.1	—	—
10月末	10,145	△0.1	—	—
期 末 2020年11月10日	10,145	△0.1	—	—

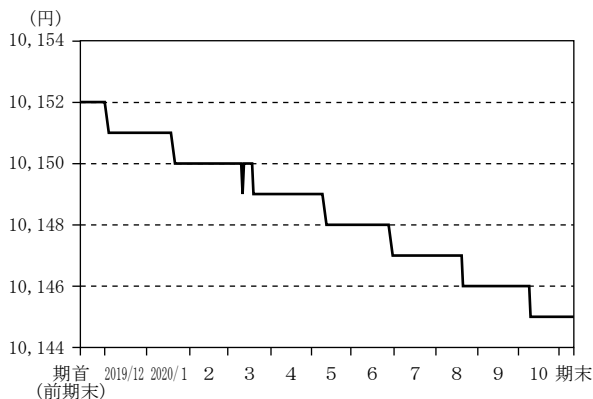
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,152円からスタートし、期末は10,145円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.21%から期末は△0.10%となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうした中、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2019年11月12日から2020年11月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2019/11/12~2020/11/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,148円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.001% (0.001)
合計	0	0.001

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2019年11月12日から2020年11月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2019年11月12日から2020年11月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年11月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2020年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	109,595	100.0
投資信託財産総額	109,595	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年11月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	109,595,142円
コール・ローン等	109,595,142
(B) 負 債	194
未 払 利 息	194
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	109,594,948
元 本	108,029,291
次 期 繰 越 損 益 金	1,565,657
(D) 受 益 権 総 口 数	108,029,291口
1 万口当たり基準価額 (C / D)	10,145円

(注) 期首元本額 210,116,355円
 期中追加設定元本額 77,302,729円
 期中一部解約元本額 179,389,793円

(注) 1口当たり純資産額は1.0145円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 ブラジル株式ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース 107,430,932円
 ブラジル株式ツインαファンド (毎月分配型) シングルα・米ドルコース 598,359円

損益の状況

当期 自2019年11月12日 至2020年11月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 122,712円
受 取 利 息	80
支 払 利 息	△ 122,792
(B) そ の 他 費 用 等	△ 1,425
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 124,137
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	3,191,393
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,167,271
(F) 解 約 差 損 益 金	△2,668,870
(G) 合 計 (C + D + E + F)	1,565,657
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	1,565,657

(注) 損益の状況の中で

(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。